



太鼓集団 天邪鬼

amanojaku

世界40数か国で太鼓を轟かせる
すごい太鼓集団が練馬にあるのだ!

の、ラテンのリズムを思わせるもの、和太鼓を通して人類共通のリズム・音が響いていました。一人ひとりの鼓手が全身全霊で太鼓を打っているのに、6人7人と鼓手が揃ってビタリと合うのも不思議でした。プロ中のプロですね。

太鼓一色の少年時代

高野台の事務所でお話を伺いました。

舞台での神聖化した表情とは違って変わって穏やかな渡辺代表。どんな風に太鼓と出逢い、プロとなられたのでしょうか？

「私は浅草育ちでね、お祭りやちんどん屋に馴染んで。10才の時に高野台に引っ越してきて田畑ばかりで静かな所だなと思っただけ、盆踊りは賑やかだった。やぐらを組む鷹のおじさんに太鼓を叩かせてもらった、なんとも響きが良くてねー、虜になっちゃった」ここから渡辺代表の一心不乱な太鼓人生が始まったのです。



中学時代のエピソード。夜の石神井公園へ1人で出かけ、月明かりで池の水面に身体を写して、パチ替わりに棒切れ振り回し「いよっっ！」と何万回も大声をあげて練習していた。

太鼓ってこんなにすごい

練馬を拠点に世界中に活躍の場を広げている「太鼓集団天邪鬼」。昨年12月19日には、練馬文化センターつじホールで20周年記念コンサート「魂の響」が上演されました。会場は満員御礼！客席は男性も女性も子どもから大人まで、そして国

際色も豊か、なんと幅広い客層でした。

Kace 12月号のアンテナプレゼントで幸運にもチケットを手にした北町のMさんからお八ガキが届きました。

太鼓集団天邪鬼のコンサート、行ってきました。ホントすこかった。アフリカのリズムを思わせるも



太鼓の神様が降りてきたような表情、かっこいい！ 小川ひろみさん

る頃には太鼓と渡辺先生しか見えないでしたね。ママがつぶれ、血がにじみ、タコができて

たら…補導されたこともあるそうです。「おやじが警察に、うちの倅は太鼓をやってたんだ！」って堂々と迎えにきてくれましたね(笑)「寝ても覚めても太鼓という少年時代を過ごした渡辺代表。19才の時には湯島天神の盆踊りコンクールで名立たる太鼓打ちの中で優勝したことはとても励みになったそうです。

天邪鬼の旗揚げは3人

コンサートでも一際目を引く女性2人が小川ひろみさんと川名真由美さん。お嬢様学校の中学時代から仲良しで、高校の文化祭で太鼓をやることになり、

音も打ち方もすべてに隙がなく、美しい。川名真由美さん

ミーハー気分が分けて習いにいったのが渡辺代表と運命の出会いとになりました。卒業す

アンコールの余力はない

渡辺代表は文化

つぱり歯切れの良い言葉が飛び交う。「太鼓集団 天邪鬼」は1986年12月、渡辺代表が27才のときに、小川さん、川名さんとたった3人で発足したので



パチに魂を込め、人間味溢れる音を出す。天邪鬼主宰 渡辺洋一さん

つと。アンコールに心える余力は残っていないいそうです。それでも会場からは強い拍手がいつまでも鳴り響いていました。

大太鼓ワークショップ 2月4日(日)開催
初級者から上級者まで渡辺代表が丁寧に指導いたします。
受講料 / 8,000円 ~ 10,000円 詳細はHPまたはお電話で。
太鼓集団 天邪鬼 ☎03-3904-1745 <http://amanojaku.info/>